越谷町広報

（一部定価2円）
編集と発行
埼玉県南埼玉郡
越谷町役場
電話越谷42,517,519,522番

あなたはねらわれています！
伝染病予防に
先ず手を洗いましょう

6月定例町議会8件を可決

水道課設置と同時に
上水道特別会計設定

六月定例町議会は、去る十日午後一時役場会議室において開会、別掲八議案が上提され、いずれも慎重審議の結果、原案通り全会一致可決されました

先づ会期一日後四時五〇分閉会いたしましたとし、横田議長指名通り会議録署名議員に井出、小林（孝）の三議員を選任したあと日程を決め、中川議員から月例出納検査結果の報告厚生常任委員会の継続審査になつていた町営屠殺場移転請願の報告が藤間厚生委員長からそれぞれなされ日程に入りました、日程に従い横田議長から逐次議案が上提され、大塚町長から各議案について説明が行われ、各議員と町長との間に活発な質疑応答を行つて慎重審議の結果原案通り可決々定をみ、午後四時に本定例会は上水道特別会計が設定されるに伴い水道課が設置され、いよいよ待望の上水道事業が本年開始されることになりました、以下可決された各議案についてご説明申し上げます

日程一第31号議案越谷町設置条例の一部改正

この議案はいままで一室五課あつたものを、一室の企画室をけずり、新たに水道課を設置するための条例改正で、六月一日から実施されることになりました

これは上水道特別会計が設定されるに伴い、対外的にも水道課設置の必要を来したためです

日程二第32、33両議案土地買収についてを一括上提

32号議案は町立大沢小学校敷地にあてるため、大沢字横仕込一八八六番の田一反一畝廿七歩を所有者岡井長次郎氏から卅一万三千円で町が買収するものです

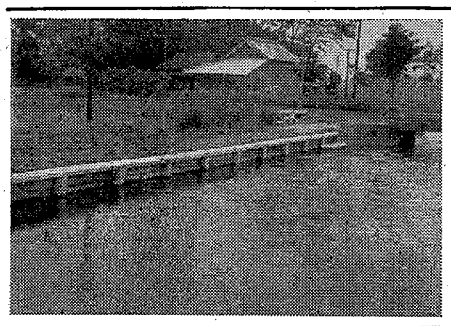
33号議案は公用（将来の都市計画その他）にあてるため、大沢辻五一九番地外廿八筆の現況雑種地一、一九五坪を八三万六千五百円で東京都から町が買収するものです

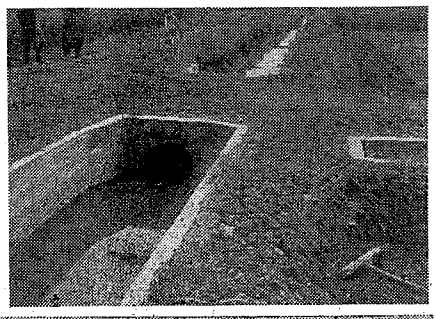
一般会計

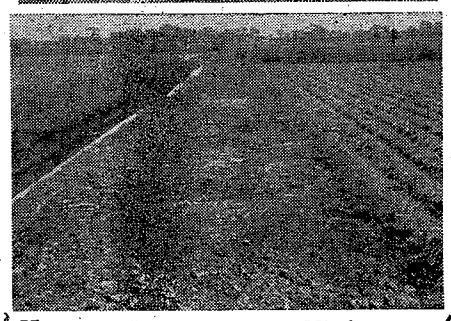
日程三第36号議案昭和卅一年度越谷町歳入歳出追加更生予算

今回の追加は一、一一一三、六三九円で、主として役場費七一万余円や火の見やぐら建設費廿五万円をはじめ、新町建設計画に伴う道路拡張改良費四〇二万九千円、大沢小学校新営費一八八万三千円、児童福祉のための保育所新築費四三万円、伝染病予防費一一万円、土地改良助成金百万円、更にこの程発足した新町建設審議会費三七万円等であり、新に設定した特別会計上水道費には一万円が主であります

一千一百十一万余円の追加







特別会計

日程四第37号議案昭和卅二年度越谷町国民健康保険事業勘定歳入歳出追加更正予算

今回は歳出更正のみで予備費三、一〇八円を過年度支出として保健婦の国庫補助還付金にあてたものです

日程五第34号議案特別会計の設定、35号上水道水源施設、38号昭和卅二年度越谷町上水道費歳入歳出予算

34号議案は地方自治法の定めで議会の議決を得れば特別会計を設けることが出来ることになつていますので、新に越谷町上水道特別会計を設けるため議会に提出したものです

35号議案は本年度行うべき上水道事業の水源施設を次のとおりにするため、あらかじめ議会の議決を要したものです

国保事業歳入のみ更正
上水道は八七〇万円の新予算

一、深井戸のくつさく一箇所
二、附属建造物（ポンプ室等）
三、附帯工事（電気工事等）

38号議案は前言した通り34号議案で新に上水道の特別会計が設定され、ここに一般会計から繰出された一七〇万円と町債七百万円の計八七〇万円で予算が編成されました。この歳入に対し歳出は次の通りです

一、水道費　八、六七三、五〇八円
(イ)委員会費（水道専門委員の費用）　八五、〇〇〇円
(ロ)職員費　九〇〇、九四〇円
(ハ)諸費（職員の恩給、共済両組合えの納付金）　七七、五六八円
(ニ)営繕費（深井戸くつさく工事その他附属工事等）　七、六一〇、〇〇〇円
二、予備費　二六、四九二円
合計　八、七〇〇、〇〇〇円

七〇万円を繰出しております、一方これが歳入は、国と県からの新町建設補助金二六〇万余円をはじめ、前年度繰越金七八五

理想郷建設に
新町建設審議会発足
委員に三十氏任命

町村合併促進法に代つて、新市町村建設促進法が制定されましたが、この法律にもとづいて新市町村に建設審議会を設置することになり、当町においても昨年九月の定例町議会に「新越谷町建設促進審議会条例」を設定同年十月一日施行されました、この建設促進審議会は町長の諸問に応じて、町の建設計画に必要な調整を加え、更にその実施に関して必要な調査審議を行う機関であり、三十人の委員をもつて構成されております、この委員はこのほど町長から次の通り任命され、その第一回の建設審議会が去る三日午後一時から本庁会議室に開かれましたその席上委員の互選によつて横田正男氏が会長に選ばれ、いよいよ町建設の諸事業実施計画が審議されることになりました、さてそれではこの新町建設審議会はどんなことを審議し計画するのでしようか、先づ審議計画するまえに、地勢、気象等の自然条件、人口、世帯の増減による社会的条件、土地利用状況、産業構造等にわたり基礎調査を行つて越谷町の実態をつかんだ上、今後の十カ年にわたる基本計画と五カ年の実施計画をたてることになつております、勿論町村合併促進協議会でたてた新町建設五カ年計画をもととし、基礎調査の結果と併せ考え具体的に町にとつて永久の利益となるあらゆる事業を審議いたします、例えば支所、出張所の廃止や統合問題、学校の統合や通学区の変更、新増改築等の問題、道路橋梁等土木施設の整備問題、その他の新町一体制の確立と組織運営の合理化をはかつて健全な財政を促すことなどであります

新町建設審議会委員の顔ぶれ

（順不同、敬称略、⊙は会長）

▼町議会議員から　十二名
⊙横田正男、中井文次郎、井出門平、小林彌藤次、藤井恒敬、須賀定吉、川島有為、大野義雄、藤田岩太郎、山口浩、木下半助、深井哲三郎

▼教育委員会委員から　一名
秋山長作（教育長）

▼農業委員会委員から　三名
竹内正雄（第一農委）小倉初治（第二農委）金子佐五八（第四農委）

▼公共的団体等の役員から六名
石井節子（婦人会長）中村裕彦（PTA会長）大貫亥蔵（消防団副団長）松永悦蔵（共済組合長）増田俊雄（農協組合長会長）

▼学識経験者　八名
石川正、会田俊、長町豊、大山正一、大野寛人、浅井堅教、荒井政太郎、大沢弘

子供と語る会（終）

井戸端会議はやめよ
凡費はぶいて子供のために

司会＝再会いたします、「皆さんから見た大人同志の交際について」いろいろご意見があるかと思いますので遠慮なくおきかせねがいます

新方小（金子まつ江）＝道路上に牛馬をつなぐことはよくない

荻島中（菊地静江）＝隣近所の井戸端会議はやめた方がよい

大袋中（大竹ふみ子）＝子供の喧嘩に親が口だしすべきでない

越ケ谷中（板川公子）＝道路上の噂や悪口を暇さえあれば話し合つていることがあります、それから物のやりとりが多すぎるので、交際がしにくくなるのではないでしようか、酒をのむお金はあつても、子供の必要なものを買つてくれないことや、禁煙の箇所で煙草をすう人があるがこれらはいけないことです、

新方中（長野節子）＝かんじんな用事をすませないうちに不用の話しで無駄な時間をすごしたり、時には大切な用件を忘れてしまうことさえあります、用件は先にすまして話し合うべきだと思います

桜井中（石川勝孝）＝私達があいさつしても大人はあいさつしてくれない、もう少し世間に関心をもつべきです

新方中（戸張康信）＝大人同志の会合に夫婦ごとの話しばかりしているのは、子供のためによくないからやめてほしいです

出羽中（名倉生次）＝私達のすきなラジオを聴いているのに、大人達は勝手にスイッチを切りかえてしまいます

大相模小（佐藤純子）＝赤ちやんが泣いているのに平気で煙草をすつている人があります

東中（渡辺英雄）＝時間を励行して下さい

大袋中（大竹ふみ子）＝男子共学にはもつと理解をもつていただきたいと思います

出羽小（江原佳枝）＝子供にのみ言葉使いをよくしろというが親達が率先して言葉使いに注意すべきだと思います

越ケ谷小（鈴木滿子）＝酒をのんでお母さんにあたりちらすのはよくないことです

越ケ谷中（井上進）＝お母さん達が役員会のあるとき服装がないという理由で出席しない例があります、これからは不断着のままで出席するように努めるべきと思います

出羽中（宮崎海保子）＝いろいろの会合のときに酒をのまないようにしてはどうでしようか、そういう金を必要なものにむけたらよいと思います

桜井小（佐藤繁）＝子供の前では酒をのまないようにして下さい、私達を叱る場合は皆んなの前で叱らず陰によんで注意していただきたいと思います

蒲生中（島根千代子）＝先生や親達に対して意見をいうと、理くつで流してしまいます、これはよくきいていただきます

大袋小（栗原螢子）＝親達は遊んでいる子供にばかり働かせるのはいけないと思います

桜井小（竹内小由美）＝子供の出来ないことまでおしつけることはよくないです

蒲生中（浜野保）＝商店に買物にいくと大人を先にしてしまいます

蒲生小（渡辺久子）＝小さい子を叱らず大きい子を叱るのはよしていただきます（例えば小さい子が悪いのに）

大袋中（立沢昭二）＝宴会があると酒が出て酔つているが、これはさしひかえてもらいたいと思います

司会＝皆さんどうです、現在の嫁入りについて何か感じておる点ありますか

大沢中（中村勝子）＝虚栄心から余計なものをこしらえるようですが、もつと実用的なものをこしらえるべきだと思います、宴会のときはねばらず、時間的に計画すべきです

荻島中（菊地静枝）＝競輪、競馬等にはおしみなく金を使いますが、子供のために必要な金をおしむのはいけないと思います

桜井中（金子あき子）＝盆おどりは次の日の仕事に影響するといつていますが、この点は何とか改めてほしいです

大袋中（立沢昭二）＝嫁をもらう、くれるは物のようなので改めてほしいです

越ケ谷中（板川公子）＝きびしく子供を叱らず、やわらかく叱るようにしていただき、理由を理由としてうけとつてほしい

司会＝大人に望む貴重なご意見をたくさん聴かしていただいてありがとうございました、もう時間がきましたのでこれでおわりたいと思います、それから最後に今日のこの催しに対しての感想や、役場をみての感想がありましたら代表でどうぞ

大沢中（立沢昭二）＝この会は沢山開いていただき、子供の世界が大人にわかるようにしていただきたいと思います、又役場をみせていただいて有意義でした

大沢中（中村勝子）＝親と子供が、双方から意見を交換しあつてやることを希望いたします、部落においてもこのような催しをするとよいと思います

＝むすび＝以上でこの会が終つたのは午後四時三〇分でした、三回にわたつて掲載した「子供と語る会」の記録が大人側にどう受取つたかみなさんの想像におまかせしますが、子供が何を考え、又大人側の行動にどのように注視しておるかは、この記録からある程度うなづけます、全体を通して大人側がもつと子供の世界にとけこんでいくことが大事であるということが考察されます…おわり…

＝農業改良事業進む＝

（上）荻島地区南荻島地内のコンクリート護岸工事で工費一九万八千円（内町補助七万四千五百余円）でこのほど完成しました

（中）これも荻島地区西新井地内の樋管工事で工費五万九千五百円（内町補助五万三千二百円）で完成（下）中と同じ地内で巾一米、延長三一〇米の農道拡張工事で工費七万三五千円（内町補助五万一千四百余円）で完成

農家ではいま田植を目前に控え猫の手も借りたい忙しさ、このような時にはとかく大切な体を無理して使うものですそこえつけこんでいやな病気（伝染病）がはやり出してきています、また押売り物貰いなどもふえてきます、そこで農繁期における注意といつては失礼ですが、関係課や警察からかきいた二、三点を申し上げてみましよう

防犯心得　農繁期の隙をねらつて多くなるのが、いつもきまつて「押売り、物貰い」時には忍びこみなどもあります、したがつて家を留守にすることは危険です、そういつても農家ではいま総出で野良仕事、とかく危険な状態におかれています、さてそれではこれを防ぐにはどうしたらよいか、それには先ず隣近所が「押売りから買わない、物貰いにやらない」ことを申し合せ、もし脅迫的押売りや物貰いがあつたら、すぐ最寄りの駐在所へ連絡して撃退する以外にありません、一家留守にするときは鍵じまりを厳重にすると同時に、留守人のいる近所によく頼んでおく必要があると警察ではいつています

栄養食を　農繁期の食生活には「つい忙しいからお茶漬だ」と食事をすまして、すぐ野良に出かけることはいまの世になくなつたと思いますが、手をはぶくためにとかくそうなりがちなものです、農家では一年を通じ一番忙しい時で、体力を極度に消耗いたします、この忙しい時こそ栄養をつけて、体力が消耗しないよう心掛けるべきではないでしようか、肉、魚、卵、豆類油類など適当にくみあわせて取るようにすることが、農繁期における大切な体力を維持することが出来ます、あなたの大切な身を守るのも一寸した工夫と心掛けでできます、一年を通じて特に栄養を考えるのがいまです、農繁期の疲れが後になつて病気のもとになつては大変です、忙しいなかにも栄養を念頭におきましよう

衛生に関心を　六月といえば入梅の月でもあり、田植を目前にひかえた農繁期でもありますそうした関係で衛生面にはとかくおこたりがちなものですその隙を伝染病菌はねらつています、この恐ろしい病菌が入らないようしつかり戸締りしておきましよう、先ず調理前、食事の手洗い励行、大・小便所内に清毒薬をまき用便後手を洗うことは習慣化し、乳幼児や子供達には特に注意をおこたらず、からだの調子がおかしい時はすぐ医者にみていただきましよう（流感に御注意）

31年度 優良納税表彰式行わる

団体（三十年内連続廿四）・個人一一受彰

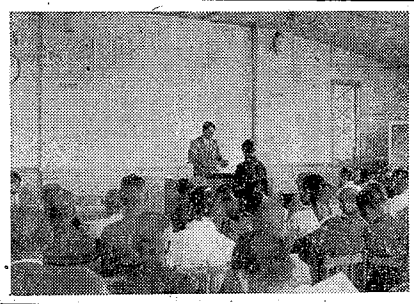
町政運営の原動力である町税は皆さんのご協力により好成績のうちに五月の出納閉さ期をむかえました、その間これが納税促進に、陰に陽にご協力下されました納税組合および個人の優良納税表彰式が、去る廿七日午後一時から本庁会議室に挙行されました、当日は町長から感謝のことばと、優良納税組合并団体（内三年連続廿四団体）個人表彰十一納税組合長にそれぞれ表彰状、記念品がおくられ、納税に尽した功績をたたえ、その労をねぎらつて今後のご協力をおねがいし、式はとどこうりなく午後三時終了しました、今回表彰されました団体、個人は次のとおりであります

個人表彰（いづれも納税組合長敬称略）

▽桜井地区東組＝大野寛示▽新方地区船渡第五＝八木橋進一▽増林地区大淵＝浜野倉之助▽大袋地区恩間新田＝福田新右エ門▽荻島地区下手＝島村慶治▽出羽地区四丁野西両組＝山崎次作▽蒲生地区奉行地第一＝遊馬省吾▽川柳地区伊原本田第一＝深井康栄▽大相模地区藤塚北＝石塚喜久造▽越ケ谷地区四丁野道＝鈴木卯吉▽大沢地区大沢＝降田清一郎　＝以上十一名＝

団体表彰（上から地区名、納税組合名）

▽桜井＝大泊、東組▽新方＝船渡第六▽大袋＝恩間第二、同第四、三の宮中組、同下組、大房第一、同第二、同第三、同第四、同第五、袋山第五▽出羽＝三ツ谷、神明下第一、西両組▽川柳＝伊原新田第二▽大相模＝藤塚北、同南、不動、西口南、東和南百、四条本田▽越ケ谷＝四丁野道、宮前、御殿、獅生町▽大沢＝大沢第六区、大沢▽三カ年連続表彰組合新方＝船渡第一、増林＝林西川、新田、下組、大袋＝大道新田、荻島＝



広報板

農繁期の無料巡回診療行う

十七日から九日間

例年の通り本年も農繁期における無料巡回診療を、次により実施することになりました、田植を間近かに控え何かとせわしい日々をおくられております農村地帯の健康保持をはかろうと、国保事業の趣旨普及と併せ行うもので、気がるにご利用下さることをお願いいたします（厚生課）

巡回診療日程と会場（上から期日、地区名、診療会場）

六月十七日＝出羽（三社神社観照院、神明下集会所）

同十八日＝荻島（西教院、公民館、砂原集会所）

同十九日＝新方（無量院、第二診療所、徳蔵寺）

同廿日＝蒲生（瓦曾根公会堂公民館、光明院）

同廿一日＝増林（支所、増森神社、東福寺）

同廿二日＝大袋（浄光寺、支所、一乗院）

同廿四日＝桜井（下間久里集会所、慈眼寺、崇徳寺）

同廿五日＝大相模（不動様、支所、金剛寺）

同廿六日午前中＝川柳（智泉院）

同廿六日午後＝大沢（麦畑集会所）

なお時間は各会場とも午前九時から午後四時までとなつております

診療班の編成

町立越谷病院から医師、看護婦各一名と、越谷医師会の医師などが出て診療にあたります、午前中が町立病院のお医者さん、午後は町医師会のお医者さんがそれぞれ担当されます

当日は広報車をくり出して宣伝にあたります

蒲生地区で町議の補欠選挙

蒲生地区選出町議会議員中野音次郎氏がこの度一身上の都合により辞職願が議長になされ、これを許可した旨町選挙管理委員会に報告されました、よつて町選挙管理委員会では近く蒲生地区選出の町会議員補欠選挙を行うことになりました

あちら―こちら

東中学校P・T・A役員決る

今春めでたく中学統合への第一歩として開校した東中学校ではこれを契機にP・T・Aも統合しようと、両地区関係者が東中学校P・T・Aの結成を進めておりましたところ、去月八日午後一時めでたく結成されました当日決つた正副会長は次の通りです

△会長＝山本雪秀（増林）△副会長＝中村一（大相模）須賀喜悦（増林）菊地正（校長）

なお機構は総務、厚生、進学、就職、施設、体育の各部に分れ、それぞれ部長の下に部員をおき両地区から選ばれた四二名の理事がいずれかの部に属してグループ活動をなされ、監事、会計書記などもおいてともども健全な運営をされるようになつております

東中で学校新聞創刊

東中学校では生徒の自主活動の一つとして、東中新聞を去る五月二日創刊号として発行しました、紙面は半紙判二頁で学校の行事、生徒の意見、希望並びに文芸作品等細かく掲載され、将来を背負う若き希望があふれています

視聴覚教育運営委員会発足

日頃皆さんに親しまれておりますナトコ映画は、吉川地区と共同で運営しておりましたが、本年度から町自体でこれが運営をすることになりました、そこでこれが運営の万全を期する意味で町視覚教育運営委員会を作り次の諸氏を運営委員に委嘱しました、その第一回運営委員会を去る四日午前十時から本庁会議室に開き、町負担金廿六万円の予算編成や、今後の運営要点について協議いたしました

△視聴覚教育運営委員（敬称略）秋山長作、瀬尾哲太郎、深井哲三郎、石井節子、永野勝美会田平和、田中保、山崎清、中村裕彦。高橋博、田川一郎

上水道事業早期実現に

主婦代表が陳情

越谷町の上水道事業は昨年九月にこれが布設の認可を得て、いまは起債の枠獲得の段階に来ておる現状であります、この状況を知つた給水区域の主婦達は「文化的、衛生的で明るい住みよい町建設」には上水道布設が先決であるとして、婦人会を通じ関係機関に陳情しようということになり、去る五日連合婦人会長、越ケ谷、大沢両地区婦人会長等数人が主婦を代表して、県庁、厚生省、自治庁にそれぞれ訪れ主婦の意向を伝え、速に起債の承認をいただいて上水道事業ができますよう懇願しました

各地区の話題

広報協力委員会の各地区支会長決る

越谷町政を末端まで浸透し、住民の意見や希望が町政に反映して協力と理解が得られるようにしようと、各地区行政連絡員に広報協力員をおねがいし、全町を一体とする広報協力委員会を作ることになつたことは既報の通りでありますが、その後各地区とも協力員の互選によつて支会長が次のように決りました、近日中に支会長会議を開き、役員を選出したのちいよいよ全町を一体とする協力体制を整えることになつております、この広報協力委員会発足によつて、現在の広報活動がより一層皆さんのものとして地についた歩みが出来るものと今からその活躍が期待され力強い限りです

▽各地区広報協力員会支会長（上から地区名、氏名、敬称略）

増林＝須賀喜悦、大相模＝関根淳、蒲生＝中野英市、桜井＝小倉初治、大袋＝福田新右衛門、新方＝伊東演恵、荻島＝川島有為、川柳＝中村要三出羽＝島村斌、大沢＝中田哲越ケ谷＝清水万吉

増林公民館で慰労会

増林公民館では、当公民館発足以来六年有余にわたり公民館長として尽力された中島与兵衛氏が今度その職を辞したので、増林地区あげての慰労会が去る一日中学校講堂で挙行されました当日は農繁期にもかかわらず参加者二百有余人、町から町長は じめ議長、教育長等多数の来賓を迎えて、前館長中島氏の功績をたたえ感謝状、記念品を贈つてその労をねぎらいました、中島氏は館長として六年有余つねに卒先垂範して新しい村ずくりに挺身、農業改良、生活改善青年教育、婦人教育等の活躍はめざましく、増林公民館活動の名を県下に響かせました、来賓者の言葉も中島氏の功績をたたえ、その功績をしたう参会者も心から感謝し、新館長岡安忠蔵氏のもと益々増林公民館の活動を活発化しようと意気ごんでおります、こうして当日の慰労会は中島氏を中心に、六年有余歩みきたつた過去に花をさかせ和気あいあいのうちに終ることができました（増林公民館総務島田晴雄氏から）

浦和越谷線、越谷吉川線

県道ほ装方請願

浦和越谷線、越谷吉川線の両県道は最近交通がひんぱんで、重要県道でありながら未ほ装のため、路面のおうとつ甚しく、沿道住民は砂塵、雨水等の四散で困惑を来し、更に沿道農作物にも大なる影響があるところから町といたしましては住民の要望と併せ、このほど県知事、土木部長、県議長等関係機関へ鋪装実施方請願いいたしました

縣農試で発表

六月病害虫發生予想

埼玉県農業試験場では、五月十五日、六月病害虫発生予想を次のとおり発表しました

特報第一号！

六月病害虫発生予想

一、天候予想（五月八日熊谷測候所）

月別	気温	降水量	日照
六月	やや低い	やや少い	並
七月	並	並	並

二、病害虫発生予想

(1)稲いもち病＝初発やや早く、水稲いもち病が北足立郡伊奈村と、北埼南河原村の苗代に初発生しました、病班型は共に進行性で過去七カ年の統計より比較して極めて早く、近年水稲の早植栽培に伴い苗稲黐病の初発生が早くなりつつある傾向なので早植の苗代の肥培管理には特に注意を要します、なお今後の発生予想及び対策については六月の発生予想を参照にして下さいまたは起債の枠獲得の段階に来ておる現状であります、この状況を知つた給水区域の主婦達は「文化的、衛生的で明るい住みよい町建設」には上水道布設が先決であるとして、婦人会を通じ関係機関に陳情しようということになり、去る五日連合婦人会長、越ケ谷、大沢両地区婦人会長等数人が主婦を代表して、県庁、厚生省、自治庁にそれぞれ訪れ主婦の意向を伝え、速に起

モメ事農

▼根拠＝(イ)特報の通り一部ではあるが、既に初発のみられた処があり、この時期はきわめて早い　(ロ)乾土効果は四月上中旬蒔きの早期栽培苗代でみられるかも知れないが、一般苗代ではあまりない見込みである　(ハ)本年の梅雨の入りは早く、五月下旬頃から梅雨型の天候となる

▼対策＝(イ)苗代で発病の恐れある時は薬剤散布を行うこと、水銀液剤（リオゲン水和剤、P・M・F、フミロン錠等）ならば反当り六斗（水銀量二・五グラム）水銀粉剤（セレサン石灰、リオゲンダスト、ルベロン石灰等）ならば反当り三㌔とする　(ロ)田植に当つて発病苗を本田に植込まないこと　(ハ)本田に窒素質肥料の過多にならぬようにすること　(ニ)苗代や本田附近の稲わらとわら製品の処分すること

(2)二化螟虫第一化期＝発蛾量多く最盛期並かやや遅い

▼根拠＝幼虫密度が高く然も死虫率が低いため、発蛾量は多く三月上旬採集幼虫の加温処理による蛹化前日数では平年並と予想されるが、天候予想では六月気温やや低く降水量やや少い予想であるので、発蛾最盛期は並かややおくれ、被害は多いと予想される

▼対策＝近くの二化螟虫防除適期決定圃の予察灯誘殺成績を利用し、発蛾最盛期に田植を行つたものは発蛾最盛期十日後にパラチオン乳剤二千倍液を反当り五斗～六斗散布する

(3)ヒメトビウンカ及び縞葉枯病＝やや多い

▼根拠＝一、二月の平均気温は本年三・五度で平年の二・六度に対し高いほかの四月中下旬及び五月上旬の最低気温の積算も本年三一二・四度で平年の二四四・〇度に対し高い

▼対策＝BHC粉剤一％反当り三㌔またはパラチオン乳剤二千倍液散布

(4)稲桿蠅＝少い

▼根拠＝雑草に寄生している越冬幼虫が少く、スズメノテツポーの被害は見られない

取り扱いに注意！

農薬パラチオン剤

パラチオン剤は非常にきく殺虫剤ですが、同時に人畜にも強い毒性をもつています、これらの事故を防ぐには、特につぎの点に注意いたしましよう

(1)からだに傷のある人、肝蔵の悪い人、生理日の婦人などは作業をしないこと

(2)薬はいつも風上の方にからだをおいてまき、服装は皮膚がみえないように覆い、ズボンはなるべく防水したものを用い湿つたマスクは乾いたものに取り替える

(3)一人が長時間続けて作業することなく交代することがよい

(4)薬が手足についたら石鹸でよく洗い、作業後は下着を脱いでから全体を洗う

(5)薬をまいた田にはかならず標識を立てて、一週間位は立ち入らないようにする